

法人名：

公益財団法人 あきた移植医療協会

設立年月日 平成7年3月29日

1 法人の概要												
代表者職氏名	理事長 羽濑友則	基本財産等	137,790千円	県出資等額及び比率	60,004千円	(43.5%)	所管部課名	健康福祉部保健・疾病対策課				
設立目的	臓器移植及び組織移植の推進を図るため、臓器及び組織の移植等に関する知識の普及啓発と臓器移植及び組織移植のための諸条件の整備、援助等を行い、もって県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。											
事業概要	(1)臓器移植及び組織移植に関する知識の普及啓発、(2)臓器及び組織の機能不全の予防に関する知識の普及啓発、(3)眼球提供者及び角膜移植希望者の登録、(4)眼球の摘出、保存及びあっせん、(5)組織適合性検査に係る費用の助成、(6)臓器及び組織提供者に対する敬申費の支給、(7)医療機関等に対する臓器及び組織の摘出に係る費用の助成、(8)臓器移植及び組織移植を推進するための調査、研究等											
関連法令、県計画	臓器の移植に関する法律、秋田県医療保健福祉計画											
役員数 (R5.7.1現在)	理事		監事		評議員		計	職員数 (R5.4.1現在)	正職員	出向職員	臨時・嘱託	計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤						
		10		2		9	21	※役員と職員を兼ねている者の人数は、役員と職員の両方に計上し、職員数には括弧(内数)で表示。				

2 法人の行動計画(令和4～7年度)									
県関与のあり方	継続	経営状況	健全化が必要	取組の方向性	・要経営改善 ・公益的事業の安定実施				
目標	○経営の安定化に向けて、賛助会員を確保して会費収入の増を図るとともに、法人のあり方等について検討していく。 ○移植医療に関する啓発及び知識の普及について、継続して取り組んでいく。								
取組	○経営の安定化に向けて、賛助会員を確保する。 【目標】賛助会員の確保 各年度170会員 ○臓器移植の普及啓発を図るため、賛同する企業・団体を「グリーンリボンサポーター」に認定し、自主的な普及啓発活動を促進・支援する。 【目標】グリーンサポーターの認定 各年度50団体								

3 財務														
①正味財産増減計算書 (単位:千円)					②貸借対照表 (単位:千円)					<主な経営指標>				
区分		令和3年度	令和4年度		区分		令和3年度	令和4年度		項目		令和3年度	令和4年度	増減※
経常収益		15,806	16,833		流動資産		3,966	3,808		経常収支比率 (経常収益÷経常費用)		108.5%	98.8%	△9.8
基本財産・特定資産運用益		907	685		固定資産		164,747	159,432		流動比率 (流動資産÷流動負債)		1853.3%	1437.0%	△416.3
受取会費・受取寄附金		1,785	1,766		資産計		168,713	163,240		自己資本比率 (純資産計÷負債・純資産計)		99.9%	99.8%	△0.0
受託事業収益		6,306	6,544		流動負債		214	265		有利子負債比率 (有利子負債÷純資産計)				
自主事業収益		600	450		短期借入金					※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。				
受取補助金・受取負担金		1,259	1,579		固定負債					<退職給与引当状況(単位:千円)>				
その他の収益		4,949	5,809		長期借入金					要支給額		引当額	引当率(%)	
経常費用		14,563	17,042		負債計		214	265		0		0	-	
事業費		11,943	13,652		指定正味財産		164,747	159,433		※※中小企業退職協会制度へ加入している。				
管理費		2,620	3,390		うち基本財産充当額		155,790	137,790						
人件費(事業費分含む)		10,508	12,514		一般正味財産		3,752	3,542						
当期経常増減額		1,243	△209		うち基本財産充当額									
経常外収益					正味財産計		168,499	162,975						
経常外費用					負債・正味財産計		168,713	163,240						
当期経常外増減額														
当期一般正味財産増減額		1,243	△209											
当期指定正味財産増減額		△4,533	△5,314											
当期正味財産増減額合計		△3,290	△5,523											
③県の財政的関与の状況(事業費補助・委託を除く) (単位:千円)														
区分		令和3年度	令和4年度	支出目的等										
年間支出														
年度末残高														

法人名：

公益財団法人 あきた移植医療協会

I 自己評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況 【令和4年度実績】 ○賛助会員の確保：法入97会員(新規5、退会4)、個人72会員(新規5、退会2)(計169会員) ○グリーンリボンサポーターの認定：新規14団体(計59団体)		2 経営状況 【令和4年度実績】 ○経常収益は、基本財産や特定資産の取崩により、16,833千円(前年度比1,027千円増) ○経常費用は、人件費や事業費の増により、17,042千円(前年度比2,479千円増) ○一般正味財産期末残高は、3,542千円(前年比209千円減) ○指定正味財産期末残高は、159,433千円(前年比5,314千円減)	
【自己評価】 ○新型コロナウイルス感染症、第7,8波の影響もあり賛助会員の新規加入数は苦戦したが、金額的には前年度並み(会費+寄付金：1,765,593円(前年度比19,607円減))を確保することができた。 ○グリーンリボンサポーターについては郵送に頼らず、きめ細かな戸別訪問を行ったことで、予想以上の賛同数となったので、引き続き丁寧な企業訪問等を継続していきたい。		【自己評価】 ○長引く低金利の中で運用益はじり貧となり、指定正味財産を取崩しながらの運営である。体制や事業内容等も含め「協会のあり方」についての検討を進めている。	
		評価	評価
		A	C

II 所管課評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況 ○臓器移植に関する正しい知識の普及啓発を進めること等により、移植医療の推進を図り、もって県民の健康と福祉の向上に大きく寄与しており、公共的役割を十分に果たしている。 ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことで事業等の苦戦を余儀なくされた一方で、戸別訪問等により多くの賛同数を得るなどといった結果も出しており、臓器移植に係る知識についてより一層の普及啓発を図っている。		2 経営状況 ○賛助会員の会費収入拡大等により経営努力を行っているが安定的ではなく、経常収支のマイナスを特定資産で補填している状況である。今後も収支均衡を図るとともに、職員の削減等、協会のあり方について必要な検討を行っていく。	
		評価	評価
		A	C

III 委員会評価

総合評価	法人全体の取組・運営状況に関するコメント
B	○臓器移植や組織移植等に関する知識の普及啓発に関する活動は評価でき、協会の果たす役割は重要なものであると認識している。 ○一方で経営状況については、指定正味財産を取り崩しての運営となっており、安定した経営がなされているものではない。収入確保の努力がなされていることは理解できるが、経営状況の健全化のためには抜本的な改善が必要となる。

【委員からの提言】

○当面は賛助会員の増強による収支均衡への努力が必要とされるが、今後も、指定正味財産を取り崩しての運営が継続される場合は、事業内容の拡大や他法人との統合等など、協会のあり方について検討する必要がある。
 ○賛助会員の増強に当たっては、協会の果たす役割や必要性、意義等を個人・企業問わずに広く周知する取組を強化するほか、寄附企業が「CSR活動」をPRできるような仕組みづくりを行うなど、積極的な活動を推し進めていただきたい。

委員会評価を踏まえた対応方針

法人の対応方針 ○効果的な事業手法への改良や普及啓発機会の増加などを行っていくとともに、経営改善に向けた「協会のあり方」について、体制や事業内容等も含め、引き続き検討を行っていく。 ○賛助会員の拡大に当たっては、協会の果たす役割や必要性、取組等をまとめた資料を作成し、企業・団体等を中心にダイレクトメールの送付や戸別訪問を行うほか、寄附企業等がCSR活動をPRできるよう、広報等に使用できるマークなどの素材を提供していく。	所管課の対応方針 ○協会の収支均衡に向けた取組及び協会の今後のあり方について、引き続き必要な検討を行っていく。 ○協会が行う事業等について、県所管課として可能な限り協力をしていき、賛助会員の増強等へ繋げていく。
--	--